

PICK UP!!

お 職員の推し本

ほしじいたけ ほしばあたけ まぼろしのいずみ

石川 基子 / 講談社



秋といえばきのこ。ということで、今回のおすすめは、『ほしじいたけ ほしばあたけ』シリーズ、待望の最新刊です！今回は、川の上流から流されてきたきのこの子どもを助けた二人。家まで送り届けてやろうと老体に鞭打って歩きだし、やがて子どもの住む場所にたどり着きますが…？というお話。

しいたけのおじいさんだから、「ほしじいたけ」というネーミングセンスがツボすぎて1巻目からのファンなのですが、今回もとても面白かったです。きのこにもちょぴり詳しくなれますよ♪



ほどよく忘れて生きていく

藤井 英子 / サンマーク出版

生きていれば、多かれ少なかれ様々な悩みが出て来ますよね～。

この本は、89歳で開院し、91歳でもなお現役の漢方心療内科医の著者が、診察やこれまでの人生経験を通して培った生きるヒントを指南してくれています。

本のタイトル通り、なかなか「ほどよく忘れて生きていく」ことが難しい時もありますが、私もこの本を読んで心が軽くなりました。

この本で、皆さまの悩みが少しでも軽くなって頂ければ幸いです。



六月のぶりぶりぎっちょう

万城目 学 / 文芸春秋



第170回・直木賞受賞作品「八月の御所グラウンド」に続く、シリーズ第二弾！

京都にゆかりの歴史的な人物たちと織り成す奇跡のような物語が2編収録されています。

時空を超えた世界なんてあり得ないと思いつつ、好奇心が止まりません。京都という歴史ある不思議な土地の雰囲気想像力が掻き立てられます。ユーモアもありながら心にぐっとくるセリフもあり、すっかりマキメ・ワールドに魅了されてしまいました！11月ではありますが、前作と合わせてお楽しみください♪

